

2016 年 10 月 24 日

経済レポート

2016 年 9 月の貿易統計の結果 ～実質輸出には持ち直しの動きが見られる～

調査部 研究員 土志田るり子

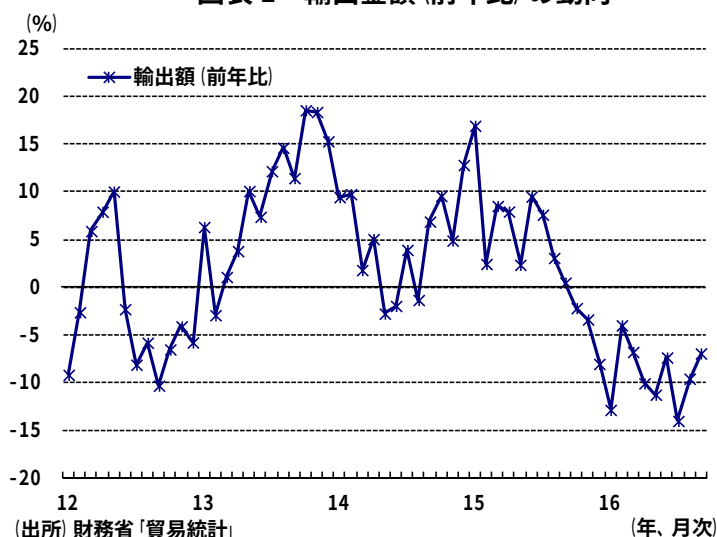
○輸出の動向

9 月の輸出金額は、5 兆 9684 億円（前年比－6.9%）と 12 ヶ月連続の減少となった（図表 1）。もっとも、為替の円高（前年比 15.8%の円高）が進んだことで、円建ての輸出金額が目減りしているとみられ、価格指数が前年比－11.1%と低下した一方で、輸出数量指数は同＋4.7%と上昇した。

品目別の動きをみると、自動車（前年比－7.2%）、鉄鋼（同－20.9%）、半導体等電子部品（同－11.8%）と、主要な輸出品が軒並み減少した。地域別では、アジア向け（前年比－8.4%）、米国向け（同－8.7%）は大幅な減少となったが、EU 向けは自動車の輸出が伸びたことなどから前年比＋0.7%と小幅に増加した。

為替の変動等の影響を除いた実質輸出（季節調整値）は、9 月は前月比＋1.0%と増加した（図表 2）。2016 年 1 月に起きた自動車関連工場の爆発事故や、4 月の熊本地震の影響で生産や輸出が停滞していたが、挽回生産が始まったことで実質輸出には持ち直しの動きが見られる。7～9 月期では前期比＋0.7%と 2 四半期連続でプラスとなった。

図表 1 輸出金額（前年比）の動向



図表 2 実質輸出の動向



○輸入の動向

9月の輸入金額は、5兆4701億円（前年比－16.3%）と21ヵ月連続の減少となった（図表3）。輸入価格指数が前年比－14.9%と急激に低下している一方、数量指数は同一1.6%と小幅な低下にとどまっており、為替円高やエネルギー価格の下落が引き続き輸入金額を縮小させている。もっとも、原油価格は足もとで下落に歯止めがかかっており、今後、資源価格がさらに持ち直してくれば、輸入額の落ち込みは縮小してくると思われる。

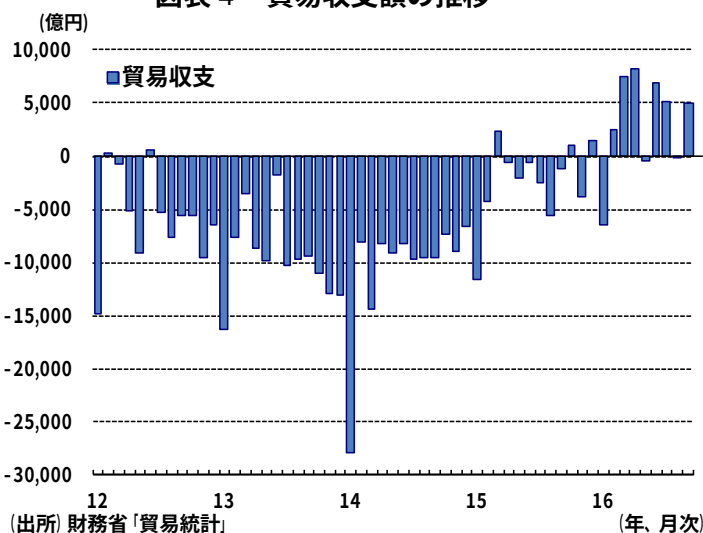
○貿易収支の動向

輸出額と輸入額の差である貿易収支は、9月は4983億円と2ヵ月ぶりの黒字となった（図表4）。季節調整値は3490億円の黒字で、前月から黒字幅は縮小した。

図表3 輸入金額（前年比）の動向



図表4 貿易収支額の推移



ご利用に際して

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください。